

みずほCustomer Desk Report 2019/02/07号(As of 2019/02/06)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.88
TKY 9:00AM	109.94	1.1409	125.43	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	110.05	1.1409	125.44	1.2955	0.7242
SYD-NY Low	109.56	1.1361	124.82	1.2979	0.7245
NY 5:00 PM	109.96	1.1363	124.97	1.2923	0.7102
				1.2928	0.7106
NY DOW	25,390.30	▲ 21.22	日本2年債	-0.1600	1.00bp
NASDAQ	7,375.28	▲ 26.80	日本10年債	-0.0200	0.00bp
S&P	2,731.61	▲ 6.09	米国2年債	2.5273	0.10bp
日経平均	20,874.06	29.61	米国5年債	2.5075	▲ 0.84bp
TOPIX	1,582.13	▲ 0.75	米国10年債	2.6991	▲ 0.37bp
シカゴ日経先物	20,870.00	▲ 60.00	独10年債	0.1605	▲ 0.85bp
ロンドンFT	7,173.09	▲ 4.28	英10年債	1.2140	▲ 1.40bp
DAX	11,324.72	▲ 43.26	豪10年債	2.1795	▲ 6.25bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	6.14	0.04%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	6.91	0.09%
NY金	1,314.40	▲ 4.80	USDJPY 6M Vol	7.43	0.03%
WTI	54.01	0.35	USDJPY 1M 25RR	-0.90	Yen Call Over
CRB指数	180.56	0.61	EURJPY 3M Vol	7.30	0.05%
ドルインデックス	96.39	0.32	EURJPY 6M Vol	7.95	0.10%

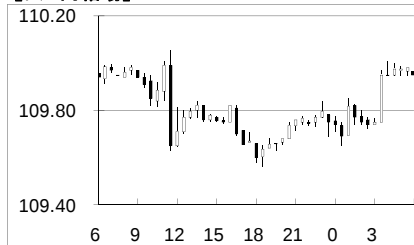
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月6日	10:30	豪 ロウ豪中銀総裁 講演	-	-
	16:00	独 製造業受注(前月比)	12月 -1.6%	0.3%
	17:30	独 マークイット建設業PMI	1月 50.7	-
	22:30	米 貿易収支	11月 -\$49.3b	-\$54.0b

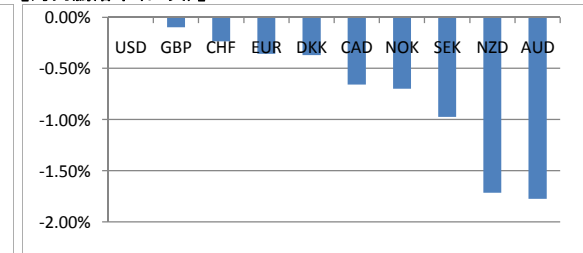
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月7日	09:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	-
	09:30	豪 NAB企業信頼感	4Q -	3
	16:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	12月 0.8%	-1.9%
	21:15	欧 メルシュECB専務理事 講演	-	-
	21:30	英 カーニーBOE総裁 講演	-	-
	22:30	米 新規失業保険申請件数	-	221k 253k
	23:15	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-
	23:30	米 クラリダFRB副議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.50-110.50	1.1350-1.1450	124.80-126.30

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円相場は特段大きな材料に欠ける中、狭いレンジ内での推移。東京時間は、大統領一般教書演説があったものの、特段目新しい内容ではなく、動意に乏しい展開。但し、ロンドン時間に入るとドイツ12月製造業受注指数が予想外のマイナスとなり、ユーロが売られる展開に。その後はドル円もやや戻し、結果狭いレンジ内での動きに終始。引き続き、アジア市場の多くが春節で休場となる中、参加者も限定的であり、レンジ内での動きを想定。

東京	東京時間、109.94レベルで取引を開始したドル円は日経平均株価が底堅く推移する中、高値110.05円まで上昇。その後、ロウRBA総裁が今後の金融政策に関して「失業が増え、インフレの停滞が続く場合、利下げが適切になる」との考えを示したこと、豪ドル円が急落する中、ドル円も連れ安となり109円台後半まで下落。その後、やや値を戻すもトランプ大統領の一般教書演説では「米国の国益を第一とした外交を追求する」との発言を受けてリスク回避の買いが加速し、109.63円まで下落。結局、109.75レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は109.75レベルでオープン、引き続き、110円手前の攻防が継続。ドル円は安値109.56円まで下落する場面も見られたが、先月のFOMCで追加利上げ一時停止の方針を示したパウエルFRB議長の講演を控えていることから下値追いつも限定され、オープンと同水準でNYに渡った。本ドルは1.2948レベルでオープン、英関係がEU離脱を8週間延期(離脱日:5月24日)することを協議していると英紙が報じたが、市場の反応は限定的、7日(木)の英中銀の金融政策決定会合を控え、狭いレンジでの推移となり、結局1.2953レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は110円手前での振幅が続き、一時110.05まで上昇するが、ロウRBA総裁の利下げを示唆する発言を受けた豪ドル円の下落や、トランプ大統領の一般教書演説で米中通商協議への具体策が述べられなかったことが重しとなり、安値109.56まで反落し、109.75レベルでNYオープン。NY朝方発表された米11月貿易赤字が市場予想ほど拡大しなかったことを受けてドル買いが強まり109.84まで戻すが、米株が下げ幅を拡大する動きに109.65まで反落。NY午後は米10年債入札の低調な結果を受けて米長期金利が上昇する動きにつれて110.00をまで上昇する。しかし、新規材料に乏しい中、再び110円手前で小動きとなる。NY終盤に一時110.05まで上昇するが、節目を明確に上抜けることができず、109.96レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、独12月製造業受注が予想を下回ったことやドイツの自動車メーカー大手の決算が予想よりも弱い内容だったことからユーロ売りが強まり、1.14台を割り込み1.1380まで下落。その後、小幅に値を戻し1.1392レベルでNYオープン。ユーロ圏の景気後退リスクが依然警戒される中、海外時間の流れを引き継ぎオープン後もじりじりと下落。NY午後に米金利の上昇を受けてドル買いが強まったことから、1月25日以来の安値1.1361まで続落。NY終盤も安値圏で推移し、結局1.1363レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:百瀬・田家